■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
重点課題：子育て・教育環境の充実　　施策：“社会とつながる”子育て応援プロジェクト

【施策評価】

通し番号	施策統括課	施策統括部	関係課	R5事業数	R5決算額（千円）	指標NO	施策に関する目標達成指標	単位	現状（R1）	R5実績	R5計画	R6計画	R7目標	年度達成率	計画期間達成率	平均達成率	指標の達成度	【評価の所見】 施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力	R7以降の事業の方向性
59	子ども課	子ども教育部	子ども課、学校教育課、生涯学習課	2	2,581	161	安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思う市民の割合（市民満足度調査）【再掲】	%	41.0	27.5	43.0	44.0	45.0	64%	0.0%	50.0%	C	事務事業においては、令和５年度子ども広場のモデル事業を実施し事業の進捗を図る等、前年度の評価から向上があった。また、「斜めの関係」講座の展開については、計画通りの進捗が図られ達成率は100%となっている。これら事務事業の評価結果の反映が薄いことが施策評価の達成度へ表れており、主に子育て環境に対する市民満足度の低さが、施策指標の達成度を引き下げている。 子育て環境は、例えば、乳幼児支援サービス、保育所等サービス、青少年健全育成の取組等のソフト事業から学校教育環境や公園整備等のハード事業まで幅広い事業により整えられることから、当該事務事業の達成のみから市民満足度が上昇するものでないと考える。 しかし、本プロジェクトにおける各事務事業は、子ども達が成長に伴い、変化に柔軟に対応しつつ、様々なことに主体的に関り、社会性や人間性を身に付けていくことに有効であるため、継続して実施していく。 ・子ども広場の展開；事業拡大を念頭にモデル事業を検証し他校区への拡大を計画。 ・「斜めの関係」講座の展開；伊都塾、イングリッシュキャンプ等の事業の令和５年度の改善点を整理し、内容を拡充・継続。	成果上昇、コスト増大
						162	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある中学３年生の割合（全国学力・学習状況調査）	%	34.5	72.6	38.0	39.0	40.0	191%	100.0%				

【事務事業評価】

歳出科目（R5決算）				事業３名	担当部署	始期	終期	会計	事業概要（対象、手段、目的、成果）	活動指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5計画	R6計画	目標値（終期）	R5達成率（%）	R3決算	R4決算	R5決算	R6計画	評価	評価の所見 指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由	関連施策指標NO
款	項	目	事業２名																					
3	2	1	児童健全育成推進事業費	放課後子ども広場モデル事業（重プロ）	子ども課	令和3年度	令和7年度	一般会計	対象 市内の子ども 手段 放課後子ども広場の展開 目的 子どもたちが成長に伴い、環境の変化に柔軟に対応しつつ、様々なことに主体的に関わることで、社会性や人間性を身に付け、社会とつながっていることを実感できるようになる。 成果 【令和５年度実績】 南風小学校で委託型による子ども広場モデル事業を実施 117人が登録し、異学年間の交流や放課後の児童の活動場所となった。	放課後子ども広場実施の校区	0	0	1	2	1	15	50.0	0	0	1,951	933	C	児童の居場所づくり事業としては評価できるが、委託型モデル事業の総括結果を拡充計画に反映させることが重要である。	161
10	1	2	学力向上推進事業費	放課後子ども広場事業「斜めの関係」講座の展開	学校教育課	令和３年度	令和７年度	一般会計	対象 市内の児童・生徒 手段 小学校高学年の児童、中学生、高校生、協定締結大学の学生、社会人が学びや交流を行い、関わり合う講座等を実施。 目的 身近な先輩や後輩と関わり合うことにより、社会性や人間性を身に付け、社会と関わる・つながる意識を高める。 成果 【令和５年度実績】 ・伊都塾、イングリッシュキャンプ等の事業の拡充・継続実施 ⇒伊都塾；2日間実施。延べ204人の中学生参加。 ⇒イングリッシュキャンプ；2日間実施。13人の中学生参加。 ・児童生徒を対象に市が大学等と実施した事業 ⇒いとしまSDGｓ再発見プロジェクト事業、九大寺子屋事業、いこっか事業等	実施中学校の数	7	7	7	7	7	7	100.0	0	0	630	617	A	協定締結大学による中学生を対象とした講座により、身近な先輩、後輩との交流（斜めの関係）の場となっており、「社会と関わる・つながる力」の育成に寄与している。	161